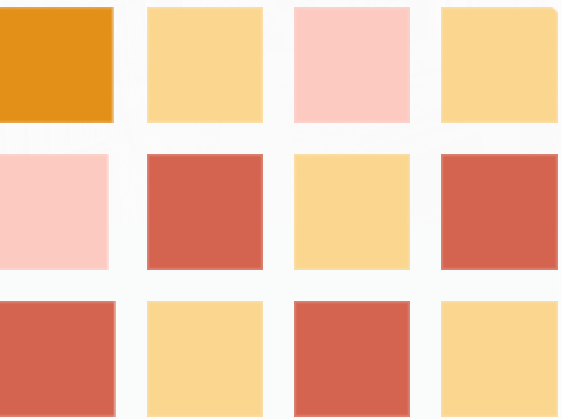


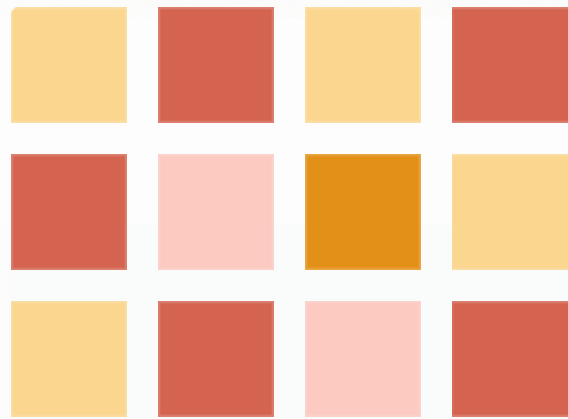


西東京市立
保谷
小学校

Since 1874



学校案内



NISHITOKYO MUNICIPAL
HOYA ELEMENTARY SCHOOL



年間行事予定



ホームページ

校長名

久森 信 Hisamori Makoto

住所

〒202-0015

東京都西東京市保谷町 1 - 3 - 3 5

連絡先

TEL 042-463-4511

FAX 042-463-4722

E-mail e-houya@nishitokyo.ed.jp

URL <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>



児童数

令和8年5月現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学級数	3	3	3	3	3	3
児童数	81	95	84	80	97	89

全児童数 526名

マップ



1

日のスケジュール

時間 内容

8 : 1 5 登校 ~ 朝の会

8 : 4 5 1時間目

9 : 3 5 2時間目

1 0 : 2 0 休み時間 (20分間)

1 0 : 4 0 3時間目

1 1 : 3 0 4時間目

1 2 : 1 5 給 食

1 3 : 0 0 清 掃

1 3 : 1 5 休み時間 (20分間)

1 3 : 3 5 5時間目

1 4 : 2 5 6時間目

1 5 : 1 0 帰りの会 ~ 下校

クラブ活動

委員会活動

は 1 4 : 4 5 ~

『生きる力の育成』と『持続可能な学校経営・学校づくり』

4つの「あ」を大切に、心も体も健やかに育ち、学習効果が上がる学校
子どもたちみんなが友達や先生に会いたいと登校する学校

- ◆児童に「愛情」を注ぐ学校
- ◆児童が「安全」で「安心」して過ごすことができる学校
- ◆互いに「あいさつ」や「温かい言葉」が交わし合える学校
- ◆「ありがとう」という感謝の気持ち大切にしたい学校



教育目標

生きる
力

ZEST FOR LIVING

「確かな学力」の育成

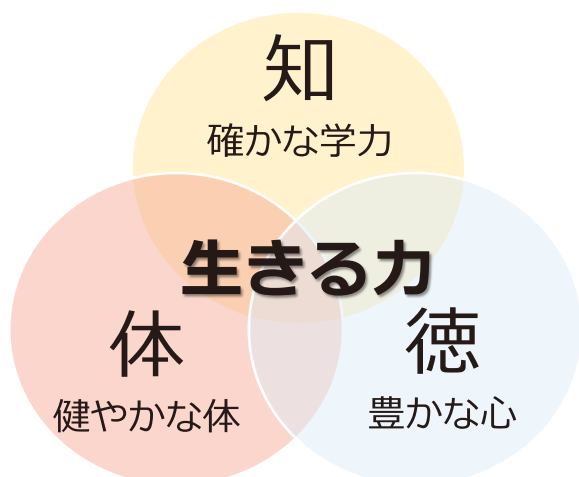
- ◇主体的に学習に取り組む態度の育成
- ◇基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- ◇言語活動の充実・自分の考えをもつことができる児童の育成
- ◇タブレットとICT機器の効果的な活用
- ◇読み書きアセスメントを生かした個に応じた指導・支援

「豊かな心」の育成

- ◇よりよい人間関係を築く言語環境の整備
- ◇いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応
- ◇キャリア教育の充実

「健やかな体」の育成

- ◇体を動かすことの習慣化
- ◇心身共に健康な児童の育成
- ◇多様性と調和を基本とした「学校2020レガシー」の取組を地域人材を活用して推進する



UD

ユニバーサルデザイン

全ての児童が落ち着いて学習に臨めるように教育環境の整備・充実を図ります



授業に集中できるように
整えられた黒板周辺

- ⇒ ユニバーサルデザインを意識し、教室や校舎内を整頓する。
黒板や黒板横の掲黒板や黒板横の掲示板には物を貼らない。
黒板横の棚を整理し布等で見えないようにする。

不易 流行

学校教育のアップデート



GIGAスクール構想を实践して主体的・対話的で深い学びの実現を図ります

- ⇒ 不易と流行をベストミックスさせて、新しい指導の在り方を探求する。

これまで積み重ねてきた良いものに
新しいものの良い部分を取り入れた
ハイブリットな学習

CS

保護者・地域との新しい連携の形

コミュニティ・スクールの強みを生かした学習活動

- ⇒ 保護者や地域に積極的に授業や行事を公開し、教育活動への理解と協力を得る。
⇒ 外部人材を活用した授業や保護者参加型の授業を全学年で実施する。



保護者・地域・中学生など
たくさんのボランティアに
支えていただいた運動会



地元の畑で農業体験

明

治・大正・昭和

- 明治7年 創立、上保谷学校と称し、熊谷県新座郡上保谷村上宿宝晃院を借用して校舎にあてて。
- 明治17年 上保谷荒井竹に校舎新築。宝晃院より記念樹として、「このて柏」を移植。
- 明治19年 上保谷小学校は、周囲五ヶ村が合併してできた小保戸学校の分校となる。
- 明治22年 町村制実施によって、上保谷・上保谷新田・下保谷の三か村が合併し、保谷村となり、東京府に編入。保谷尋常小学校と校名を変更。
- 明治25年 下保谷分教場が独立し、芳谷小学校となる。
- 明治34年 保谷尋常高等小学校と校名を変更する。
- 大正4年 大正3年の小学校令改正により、本校を保谷尋常高等小学校とする。
- 大正13年 表と裏がない「このて柏」の葉のように「心に表と裏のない子どもになるように」との願いを込めて、「このて柏」の実を形どって校章が制定された。
- 昭和4年 本校・分教場ともに増築、新たに上保谷新田に分教場を新設し、これを第二分教場とし、下保谷の分教場を第一分教場とする。この日をもって本校開校記念日とする。
- 昭和16年 校制改革により校名を保谷国民学校と変更する。
- 昭和22年 学制改革により、校名変更により保谷町立保谷小学校とする。
- 昭和27年 従来の校歌を改め、現在の校歌を制定する。
- 昭和35年 校舎（本屋）木造平家、普通教室6、管理室2取壊し、新たに木造2階建普通教室12、図書室1、音楽室1、管理室4、その他3室を完成し、これにより二部授業を解消。
- 昭和42年 保谷市制施行により保谷市立保谷小学校と校名を変更する
鉄筋三階建（9教室）と給食調理室完成
プール（タテ25mヨコ10m）の落成式を行う
体育館完成 木造校舎の便所が水洗式に改造
- 昭和47年 校庭北東部に学童保育所開設
- 昭和48年 創立100周年記念として、プール西側に築山完成（カプセル埋蔵）
- 昭和50年 木造校舎解体
- 昭和63年 カラーテレビ普通教室9台設置

平

成・令和

- 平成元年 焼却炉設置
- 平成3年 巡回時計設置
- 平成4年 新校舎前防球ネット撤去・新設
- 平成5年 体育館照明取替
- 平成8年 ファクシミリ設置
- 平成9年 ランチルーム新設
- 平成10年 中央校舎耐震補強工事終了
コンピュータ室新設
和室新設
給食調理業務民間委託が始まる
- 平成11年 コンピュータ室コンピュータ設置
- 平成13年 保谷市と田無市が合併して西東京市となり西東京市保谷小学校となる
- 平成14年 ことばの教室「えがお」新設
- 平成17年 全教室扇風機取り付け工事終了
パソコン校内LAN工事終了
- 平成18年 防犯カメラ設置
- 平成24年 校庭全面芝生化工事終了、芝生散水用スプリンクラー設置
- 平成25年 普通教室エアコン設置工事終了
- 平成26年 東京都言語能力向上拠点校
東京都オリンピック教育推進校
- 平成29年 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校
東京都教育委員日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業指定校
- 平成30年 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校
- 令和2年 新型コロナ感染症流行のため緊急事態宣言が発出され臨時休校措置が取られる
タブレット一人一台を導入した教育活動開始
- 令和5年 西東京ふるさと探求学習の実施
- 令和6年 保谷小学校そよかぜ教室開設
- 令和7年 第2期タブレット端末導入

笑

通級指導学級 ことばの教室『えがお』



ことばの教室について

吃音や発音の誤りなど、ことばに関する心配の軽減・改善を図るために保護者の方や在籍学級の先生と連携しながら、一人ひとりにあった支援を行う教室です。

ことばの教室の指導

- ★週1回（45分）の指導
- ★それぞれの課題に応じた『個別指導』
- ★発語器官の運動を高め正しい発音を獲得するための指導
- ★吃音による不安の軽減や、吃音理解・自己理解を促す指導



教室直通

TEL 042-463-1282

FAX 042-452-5750

風

特別支援教室「保谷小そよかせ教室」



このような課題がある児童が指導を受けます

- ①コミュニケーションのすれちがいが多い。
- ②集団生活になじみにくい。
- ③状況や人の気持ちを捉えるのが苦手。
- ④読む、書く、聞く、話す等のうち特定のものの学習が難しい。
- ⑤気持ちの切り替えがうまくできない。
- ⑥衝動的に行動してしまう。



特別支援教室の指導について

学習上・生活上の困り感のある児童のニーズに対応した指導を行い、次のような力を育てます。

・コミュニケーション力 ・意欲 ・自立心 ・自信 ・自己肯定感

- ・拠点校の東伏見小学校そよかせ教室から巡回指導教員が保谷小学校に来て指導します。
- ・原則週1日1～3時間程度の指導を受けます。
- ・「小集団指導」と「個別指導」を組み合わせで指導します。
- ・入室については、保谷小学校を通し就学支援委員会で判定します。担任にご相談ください。
- ・そよかせ教室担任への相談日が毎学期設けられています。お便りを見て申し込んでください。